院内 LAN の設定

「歯科診療録」を複数台のパソコンで使う場合、１台のパソコンにデータを置き、他のパソコンもそのデータを読みます。便宜的にデータの置いてあるパソコンを「サーバー」他のパソコンを「クライアント」と呼びます。歯科診療録を LAN で利用するための設定をご説明します。

はじめに

大樹の院内 LAN は大前提としてパソコン同士が LAN でつながっている必要があります。

「PC」の「ネットワーク」でサーバー・クライアントすべてのデバイス名が

それぞれの「ネットワーク」に表示されている状態にしてください。

※　参考までに本冊子後半の Windows10 パソコン同士の LAN 設定を簡単にですが記載してあります。

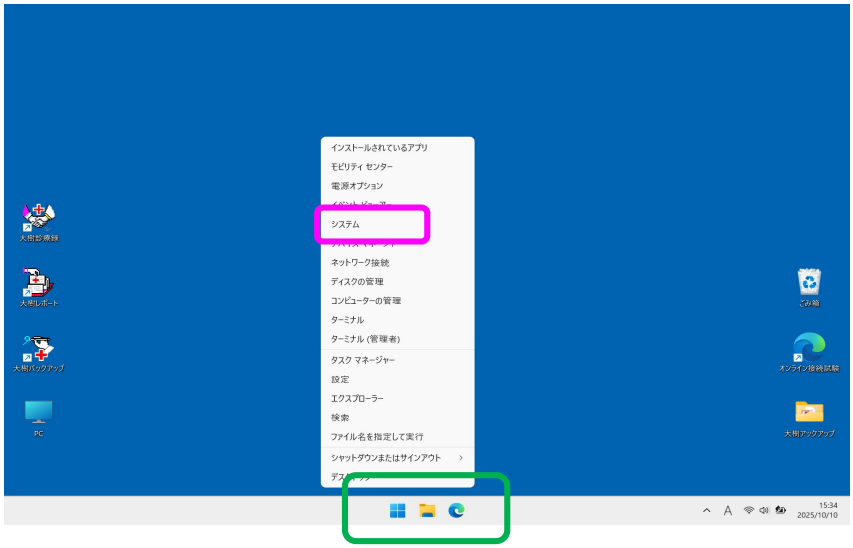
ここからが大樹の設定になります。

ステップ１はサーバー側で、２はサーバー・クライアント両側で、３はクライアント側で行います。

OS により操作方法が多少変わります。

ステップ１：サーバーのデバイス名(フルコンピューター名)を確認します。

デバイス名は「システム」や「コンピューターのプロパティ」で確認できます。



Windows スタートメニュー右クリックで「システム」が開けます。

「システム」でお持ちのパソコンのスペックやデバイス名の確認ができます。

※　確認したデバイス名はメモしておいてください。ステップ３で必要になります。

例：デバイス名「Sample-PC」

ステップ２：サーバー・クライアント両方の「Dental4」フォルダを共有します。

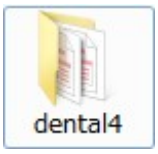
１、「「PC」または「エクスプローラー」の「C ドライブ」をダブルクリックで開きます。

C ドライブの表示名はパソコンにより異なります。

最後に（C：）と書いてあるアイコンが C ドライブです。ダブルクリックして下さい。

例：ローカルディスク（C：）、ＯＳ（C：）、Windows（C：）など

２、中にある「Dental4」フォルダを右クリックし、「アクセスを許可する(G)」を選択します。

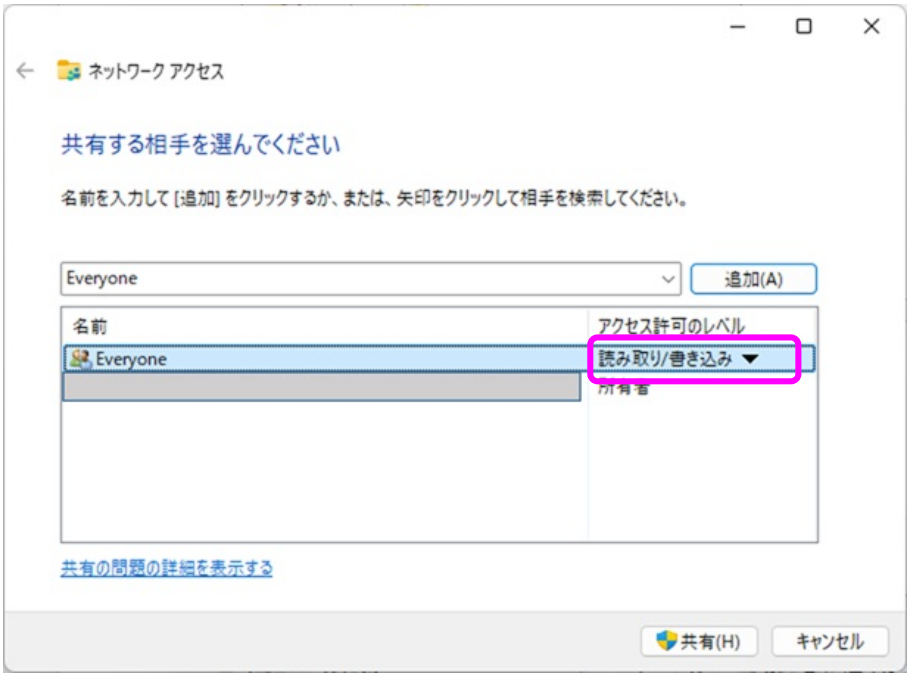




「特定ユーザー...」を選択し、

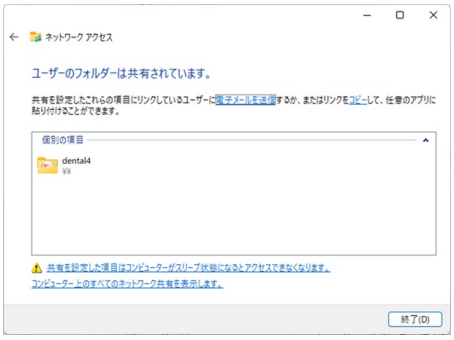
共有する相手を選択します。「Everyone」を追加し「読み取り/書き込み」に

アクセス許可レベルを変更してください。「共有(H)」で共有をします。



ユーザーのフォルダは共有されています。に「Dental4」が表示されていることを確認してください。

※　共有の作業はサーバー・クライアントそれぞれで行ってください。



ステップ３：クライアントのパソコンの設定

１，クライアントパソコンの Dental4 のフォルダを開きます。

２，フォルダの中の「DENTAL4.INI」ファイルをダブルクリックして開きます。

※　パソコンの設定によっては拡張子「.INI」が表示されていない場合があります。
「Dental4」のフォルダを開いた状態で上部にある「表示」→「表示」にある、
「ファイル名拡張子」「隠しファイル」にチェックを入れることで表示されます。

３，「DENTAL4.INI」をダブルクリックで開き内容を変更します。初期設定では
[DENTAL]
MDBPath=C:¥Dental4 となっています。これを次のように変更します。

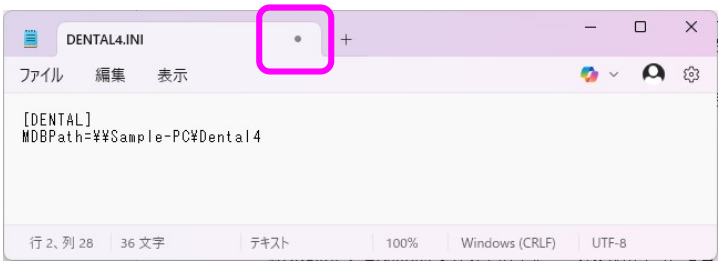
「MDBPath=¥¥サーバーのデバイス名¥Dental4」

例：ステップ１で確認したサーバーのデバイス名が「Sample-PC」場合



「MDBPath=¥¥Sample-PC¥Dental4」となります。

４，「タブを閉じる」で c:¥dental4¥DENTAL4.INI への変更を保存しますか？「保存」します。



以上で設定は終了です。サーバー、クライアント両方のパソコンで歯科診療録を起動し、受付画面で受付登録等の操作をし、正しく一つのデータを読んでいるか確認して下さい。

※　大樹院内 LAN の設定は難しい設定ではありません。共有することと INI ファイルの変更のみです。
上記の設定でつながらない場合はパソコンの LAN 設定自体に問題があるか、
セキュリティーソフトなどでアクセスを制限してしまっている場合が考えられます。
大樹の院内 LAN はパソコンの LAN 設定が正常に行われていることが前提になります。
パソコン LAN 設定が不安、不明な点が多いようであれば、
大きな電気屋さん（量販店）などでも出張で LAN 設定をしてくれるところがありますので、
ご利用されるほうが安心かと思います。
その際この設定説明をお見せして、設定していただくのも１つの手かもしれません。

院内 LAN 設定要約

院内 LAN 設定に関する説明



通常の方法で LAN 接続を完了している状態からの説明です。

サーバー・クライアント共に C:¥dental4 フォルダが共有されている状態です。

補足説明：C:¥すべてを共有している状態でも LAN 接続は可能です。

ご参考に。。。

（共有：C:¥dental4 にカーソルを合わせマウス右クリック＞共有＞共有する＞フルアクセスに Check します）

共有は NT／2000 以外なら C:¥すべてを共有することも可能です。

共有しなければ院内 LAN の設定は出来ません。

クライアントの C:¥dental4 にある dental4.ini ファイルを変更します。

Dental4.ini ファイルを開き

[DENTAL]

MDBPath=¥¥〇△□¥dental4

上記で接続できないときは、MDBPath=¥¥〇△□¥C¥dental4 と設定してみてください。

〇△□はサーバーのパソコン名です。下線は説明の為で、必要ありません。

クライアントの Dental4.ini ファイルを変更して下さい。

サーバーは。。。

[DENTAL]

MDBPath=C:¥dental4 で **変更しないでください。**

接続間違い防止の為、クライアントの dental43.mdb は Temp-dental43.mdb 等と

名称を変更しておくと確実です。

理由：接続不良ならばデーターベースがありませんと表示します。

接続すればネットワークの中でサーバーの C:¥dental4 のみ有効ですから

院内 LAN は正常に接続されたことになります。

～～～～以上簡単な院内 LAN の設定方法の説明でした。～～～～

院内 LAN 設定のご注意！

Win９８・Me・WinXP などの古いＯＳの異なる OS の混在は基本的にはお勧めしません。

できる限り、同一 OS バージョンをご使用ください。

特に！WinXP が混在する場合は必ず！WinXP をサーバーとしてください。

Win7・Win10 など新しいＯＳの混在環境では WinXP との優位性はないのでご心配ありません。

院内 LAN でカルテを開いている時のフリーズ対策について

再度カルテを開こうとした時、**「現在その患者データは他の PC で使用されています」**の

メッセージが出ますが、「各種設定」→「他 PC で使用中・・・解除」をすれば、

該当患者の ID 入力で即時に入力可能になります。（今までは、総ての PC で「歯科診療録」を

一旦終了させる必要がありましたが、多数院内 LAN への対応のために可能にしました。）